

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	平和推進事業	所管	総合政策部 政策企画課
			TEL 2998-9027

事業の目的 (何の為に 行うか)	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを観念的ではなく、より具体的に市民一人ひとりに理解してもらう。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	全市民	対象とした数	339,085	人
		実際に 利用した数	4,287	人

活動の内容 (何を したか)	①広島平和記念式典への参加:8月5日、6日の両日、広島市に市の広報等で募集した中学生から大学生までの市民6人とともに原爆死没者慰霊式・平和祈念式に参加し、原爆犠牲者を追悼するとともに平和を祈念する。 ②平和祈念資料展の開催:市役所市民ホールまたは第2ギャラリーや各地区の公民館にて被爆資料や原爆の写真パネル等を展示する。 ③語り部派遣事業(平和講演会)の開催:市内小中学校及び公民館等において被爆体験者による講話会を実施する。 ④「平和推進事業のまとめ」の取りまとめ及び発行								
	活動実績	項目名	平和祈念式典への参加	6	項目名	平和祈念資料展の開催	3230	項目名	平和講演会・語り部の開催
			単位 人			単位 人			単位 人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	725	705	5,402	15.9

成果 (結果として どうなったか)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	平和の尊さを大切に考えていただいた人数	本事業に参加して、「意義がある」と回答した人数/アンケートに回答した人数	100 単位 %	98 単位 %	98.0 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし その他〔 〕 終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	010100	TEL	2998-9027		
事業コード	総合政策部 政策企画課							
010109	平和推進事業							
開始年度		昭和	60	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市平和都市宣言						
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	政策	第7章 人々がふれあう温かいまち	施策	5節 国際化社会	中柱	2 国際性をはぐくむ環境づくりの推進	小柱

・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 42 位		・実施計画における位置づけ…		H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>
行政改革大綱における行動計画への位置づけ							
コード	事務改善活動等の充実・強化			コード			
3621				コード			
事業開始の背景	昭和59年、広島市から当市に原爆の熱線を浴びた広島市旧庁舎の敷石が寄贈されたことを契機に、当市も積極的に平和推進の啓発に取り組みむこととし、当事業を開始した。その後平成2年に、所沢市平和都市宣言が制定され、より明確に当事業を推進することとした。						

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)								
	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを観念的にではなく、より具体的に市民一人ひとりに理解してもらおう。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)								
	全市民				利用数の考え方 広島市平和記念式典への参加者、平和祈念資料展の入場者数及び平和を語る会(講話者)の入場者数				
対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数	単位	平成 18 年度	1,114	人
		平成 19 年度	339,085	人			平成 19 年度	4,287	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
①広島平和記念式典への参加:8月5日、6日の両日、広島市に市の広報等で募集した中学生から大学生までの市民6人とともに原爆死没者慰霊式・平和祈念式に参加し、原爆犠牲者を追悼するとともに平和を祈念する。									
②平和祈念資料展の開催:市役所市民ホールまたは第2ギャラリーや各地区の公民館にて被爆資料や原爆の写真パネル等を展示する。									
③語り部派遣事業(平和講演会)の開催:市内小中学校及び公民館等において被爆体験者による講話会を実施する。									
④「平和推進事業のまとめ」の取りまとめ及び発行									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])						
		<input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
平成19年度中に改善した点								
広島平和記念式典の参加者について、対象を若年層とするため、中学生から大学生までとした。また、平和祈念資料展に使用している既存の写真パネル20枚に加えて、新たに写真パネル5枚を作成し資料展で活用した。								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		666	725	682
	決算(見込み含む)		632	705	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		0.43 人 3,956	0.50 人 4,697	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		4,588	5,402	
	財源内訳	一般財源	4,588	5,402	682
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			13.6	15.9	
利用数一単位あたり(単位:円)			4,118.5	1,260.1	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	平和祈念式典への参加	平和祈念式典への参加者数	人	10	6	6	5
		平和祈念資料展の開催	平和祈念資料展の入場者数	人	280	3230	3000	3000
		平和講演会・語り部の開催	平和講演会・語り部の入場者数	人	821	1051	1000	2000
	成果分析	平和の尊さを大切に考えていただいた人数	本事業に参加して、「意義がある」と回答した人数/アンケートに回答した人数	%	目標値 100	100	100	100
			%	実績 97	98	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		
			%	達成率 97.0	98.0		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	語り部派遣事業を実際に学校教育の中に組み込めるかは、カリキュラムなどから学校側の考え方に左右されるが、授業への導入に対して更なる理解を求める。平和祈念資料展については、会場により来場者に大きな差が生じるため、開催会場の設定に配慮を要する。		
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	広島平和記念式典に平和大使とともに参加	平和記念式典に参加した平和大使を広く紹介するため平和祈念資料展での活動の場を設ける	8月中
		平和祈念資料展の開催	市民ホール・各行政区での巡回展示	年度内
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	当市は、平和都市宣言をしており、恒久的な平和を訴え続け、次代を担う小中学生等の若年層を中心に、あらゆる世代の市民に戦争の悲惨さと平和の大切さ、更には命の尊さを理解してもらうためにも当事業を継続して実施していく必要がある。			
評価日	平成20年6月2日	記入者職氏名	基地対策室長 石井 勝彦	

⑨個別計画における方向性	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	評価理由	評価日
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い 高い やや低い 低い
	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	評価理由	評価日

⑩環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
⑪個別計画における方向性	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード
基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成		
施策の方向	6国際感覚の育成		